

随想

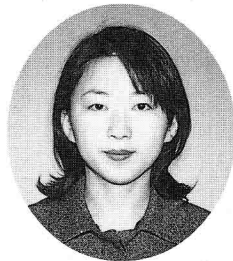
# 日々の想



ずいそう

## とびきりの笑顔で

鈴木康泰子



「先生、自主勉強やってきたよ」朝、待っていましたとばかり駆け寄ってきたA子。初めて自分から進んで自主勉強に取り組み、「どうだ、先生！」と言わんばかりにとびきりの笑顔を見せている。

「すごい！一ページびっしり。がんばったね」

何気ないこんな出来事でも、私の心はいつも増して張り切り気分になります。

四月、私はやる気十分で赴任しました。しかし、その自信も日が経つにつれて少しずつ不安と心配へ変わっていききました。

「本当に分かっているのだろうか」授業をすればするほど不安になり、話しているうち自分でも分からなくなってしまうのです。でも、一人一人にあった指導や分りやすく楽しい授業をしたに、そんな願いから何度も先生方に相談しました。するとその都度、授業を見せてくださったり、励ましの言葉をかけていただいたりしました。そんな積み重ねで、今は四月より更にやる気がアップしています。

子供たちからも私は、教えられています。友達にしか見せない表

情や姿から、心の奥を知りたいと考え、休み時間など授業以外の場面で子供を見てみると新たな一面を発見します。

目を引くために、わざと目立つ行動をとる子。一緒に遊びたいと言えず意地悪をしてしまう子。小さなことをいつまでも気にして友達とぶつかり合う子。そんな子供たちの話をしっかり聞き、言い分を受け止めてやりたいと思います。うまく心を開いてくれたとき私に信頼関係の大切さを教えてくれました。

そんな中、一学期の懇談会でもやる気をいただきました。

「若い先生を、私たちが育てていかなくては」

こんな私に、不安を抱くはずの保護者の方々からのこの言葉がとてもしれしく、勇気づけられました。

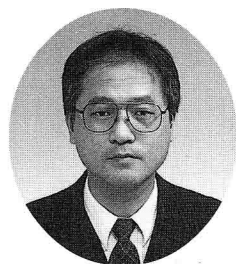
四月からの自分を振り返り、こんなにも多くの方々を支えられてきたことを強く感じています。それにこたえるには、精一杯努力するしかありません。そして、とびきりの笑顔で、毎日、子供たちを迎えたいと思います。

(福島市立杉妻小学校教諭)

## 「方言礼」と

### 沖繩の今

澤井一彦



坂下高校では今年度の修学旅行で初めて沖繩に行きました。旅行先を決める際に行った生徒への調査では、関西を希望した生徒も少なくなかったのですが、現代の社会における沖繩の持つ意義を学ぶことも必要であり、また関西は移動時間が長いということからも沖繩に決定しました。

生徒がまとめた旅行後のアンケート結果から、この修学旅行が生徒にとってどのようなものであったかを知ることが出来ます。

アンケートでは、印象に残った見学地の一位がライブハウス「チャクラ」での喜納昌吉&チャンプルーズによる平和音楽鑑賞会、三位が平和記念堂でのひめゆり学徒